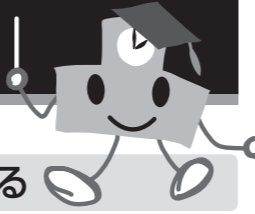


小学校の事例 西区 琴似中央小学校

「まちづくり探検隊」が地域の問題を解決。子供たちが調べ、考え、実践するまちづくり。

5年生が「まちづくり探検隊」を結成。地域とともに問題点を見つけたり、要望に応じ自主的に行動するようチームで取組む。この活動を通して地域への貢献と環境行動を実践し考えていくように。



はじめに 町内会の協力で子供たちが地域の問題を考える

本校では、平成19年度から連合町内会などの協力を得て、児童が将来のまちづくりの担い手になれるよう、「まちづくり探検隊」として、地域とともにさまざまな活動に取り組んでいる。その活動の中で、環境行動を実践し、環境について考えを深めていけるよう指導している。



落書き消し

内容 具体的な問題点を知り 行動する

まちづくり探検隊の活動には、毎年5年生が取組んでいる。今年度は「まちをきれいに明るく～地域の公園でのごみのポイ捨て状況を知り、なくす取組などを考える、発信する～」というテーマで活動した。

まず7月に、公園の管理がどのように行われているか、西土木センターの方から教わり、公園のボランティア清掃や新ごみルールの学習を行った。地域の方々から「ごみのポイ捨てが一向になくならないため、これをなくすための効果的な看板を作ってほしい」「ごみのリサイクルとして、家庭から出る廃油を使ってキャンドルを作り、地域で毎年1月に行われる『アイスキャンドルin八軒中央』で灯してほしい」という2つの要望があった。これらを含め、自分たちの疑問に思うこと、やってみたいことをもとに主に8つのチームに分かれて取組んだ。



廃油を使ったキャンドル作り

- 看板チーム
- 公園ごみ箱設置プロジェクトチーム
- リサイクルチーム1
(牛乳パックやペットボトルを使った工作、
廃油を使ったキャンドル作り)
- 公園禁煙化プロジェクトチーム
- きれいな公園プロジェクトチーム
- リサイクルチーム2
(牛乳パックを利用した和紙・紙皿・はがき作り)
- 喫煙マナープロジェクトチーム
- 公園の落書きをなくそうプロジェクトチーム

12月17日には、町内会や土木センターの方々、保護者などにも参加してもらい、発表会を行った。

チームごとに一人一人が、なぜこのチームを選んだか、どのような活動を行ったか、取組を通じて感じたこと・わかったことなどについて発表。活動のようすがわかるスライド写真や、内容をまとめたポスターを使って、わかりやすく説明するように心がけた。



探検隊の準備

まとめ 自主的・実践的な活動で環境への理解を深める

まちづくり探検隊は、調べ、考え、行動するという子供たちの自主性を重んじた活動であり、地域との関わりも深い取組となっている。このような、地域の現実の問題に則した実践的な取組をとおり、子供たちは環境問題についての理解を深めているといえる。

また、この活動をとおり子供たちは自分たちの活動が役に立っていると実感し、自分たちの住む地域に貢献したいという思いがますます強くなっているようだ。さらに、大勢の大人の前で発表する機会は貴重であり、子供たちにとって大変大きな経験となっている。




ごみの分別



ごみ箱の設置

広げよう
つなげよう
環境学習の輪



実施校から
メッセージ

「さっぽろこども環境コンテスト」に参加しました。このイベントは札幌市内の小中学生が環境を意識した活動や取組を発表することで、周囲の子供たち、そして大人へも環境保全活動の輪を広げることが目的としています。

当校は、2010年に5年生が「まちづくり探検隊」の成果をたくさんの聴衆に向けて発表し、特別賞を受賞することができました。地域の環境がよりよくなることを考え、住みよい街になるよう、今後も活動を続けていきたいと思っています。